

カナダ・マグネシウム地金生産・販売事業への新規出資参画について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、カナダ・ケベック州にてマグネシウムの生産事業を立ち上げる **Alliance Magnesium Inc.**（以下、「AMI」）へ出資参画することについて合意し、株式引受契約を締結しました。丸紅の出資額は16.7百万カナダドルとなる予定です。本事業の総工費は約1億カナダドルであり、2020年より着工し、同年中に生産・販売を開始する見込みです。

本事業は、ケベック州の鉱山が排出・堆積した鉱山廃棄物（以下、「尾鉱」）からマグネシウム成分を抽出し、電解製錬法により新地金を生産するプロジェクトです。マグネシウムは、車体の軽量化用途を中心に需要が高まっている素材であり、実用金属の中で最も軽量で、振動吸収性・比強度・比剛度にも優れています。また、電解製錬に使用される電気は、水力発電所から供給され、既存のマグネシウム製造方法と比較すると製造プロセスにおける温暖化ガス排出量が20分の1と、環境負荷が極めて小さい製造方法です。

AMIは2017年以降、パイロット操業を通じてマグネシウムの商業生産に必要な技術実証や許認可対応を進めてきましたが、今回の商業生産化により、補助事業であるマグネシウムスクラップのリサイクルによる再生合金の生産も合わせて、合計年産16,700トンのマグネシウム地金を生産・販売する予定です。更に、将来的な年産50,000トンへの拡張計画も検討をしており、実現されれば現在の世界マグネシウム需要の約5%を担うこととなります。

丸紅は、マグネシウムと同じく、軽量化用途で需要が伸張するアルミニウムの生産及び販売事業にも長年取り組んでおり、水力発電により、アルミニウムを生産するケベック州 **Alouette** アルミニウム製錬事業にも1989年の設立時より参画しています。本年11月には、アルミニウムサプライチェーン全体におけるサステナビリティ取組向上、ESGへの貢献を目的として掲げている国際イニシアチブである **Aluminum Stewardship Initiative** に日本企業として初めて加盟しています（※）。

このように、アルミニウム事業を通じて獲得した知見を本事業へも活かし、低環境負荷・サーキュラーエコノミーを重視したマグネシウム生産事業の商業化を目指すと共に、低環境負荷素材の開発と普及により、国際社会のサステナビリティ向上へ貢献していきます。

（※）2019年11月12日プレスリリース：<https://www.marubeni.com/jp/news/2019/release/20191112J.pdf>

<Alliance Magnesium Inc.概要>

所在地(本社) : 410-9160 Leduc Blvd. Brossard, Quebec, Canada

所在地(工場) : 125 CheminPinnacle, Danville, Quebec, Canada

代表者 : Joel Fournier

設立 : 2003年

事業内容 : マグネシウム地金の生産・販売事業

生産能力 : 年産16,700トン (2020年に生産開始、2021年に完全稼働の予定)

従業員 : 12名 (2019年3月時点)

HP : <http://alliancemagnesium.com/>

以上